

第8回「日本語大賞」

テーマ「あまり使いたくない日本語・もっと使いたい日本語」

中学生の部 優秀賞 受賞作品

「仕方無い」もうやめない？

アメリカ

グアム日本人学校

中学部3年 越川 七海

特定非営利活動法人 日本語検定委員会

「仕方無い」もうやめない？

グアム日本人学校 中学部三年

越川 七海

①やむを得ない。②どうにもならない。③改めようがない。この三つは全て、「仕方無い」という言葉の意味だ。「もう今さら仕方無いよ。」「だって頭痛かったんだから、仕方無いでしょ。」「私はこの仕方無いは、とても便利で、使い勝手が良くて、簡単に使用することが出来る日本独特の単語だと思う。日本人にとっては、日常生活でよく使うなじみのある言葉だ。でも、それはただの表の顔にすぎなくて、実はこの言葉にはとんでもない裏の顔があると私は思う。

「ああ、失敗しちゃった。どうしよう。」と心の中で困っている時。脳の中の言葉のボックス『サ』行から「仕方無い」が飛び出してくる。するとその人は、「そうだ。しようがないよね。私のせいじゃない。」とさっきの心情から解放され、安心する。しだいに仕方無いは習慣化され、困難に直面する度に言葉のボックスから飛び出て、人間の口から姿を表す。人間の心が弱っている時に、この言葉は私達の心の中の弱みにつけこんで、自分を支配してしまうのだ。

私も仕方無いで言い訳をしてしまうことがよくある。テストで悪い点数をとった時、「だって仕方無いでしょ。分からないものは分からないんだから。」と自分自身に言い聞かせ、悔しい気持ちから、反省点から逃げてしまう。そう、仕方無いはただの便利な逃げ言葉。だからあまり良い言葉ではない。つまり、私の使いたくない日本語の一つである。あなたにもありませんか。本当は自分に落ち度があったのを分かっているけど、それを認めたくないことが。

私の従兄Aさんが第一希望の高校入試を受けた時のこと。その日はとても天気が良く、カーテンが無いと眩しすぎるぐらいに明るく日が照りつけていた。Aさんは窓側の席で試験を受けた。すると、運が悪いことに日がパーツと窓から入りこみ、問題用紙に当たり、用紙を真っ白にしてしまった。その席だけカーテンが半開きになっていたそう。白い紙に印刷された問題用紙に日が当たり、Aさんは問題が読めなくなってしまう。結果、得意な教科も不得意な教科も点を落とし、残念ながら落ちてしまった。Aさんはそれを私に語る時、「仕方無かったんだもん。」と一言添えた。その言葉を聞いた時、私はもちろん、それは運が悪かったんだな、かわいそうだなと思った。でも、今考え直してみると、それももしかしたらただの言い訳にすぎなかったのではないかと思う。運は変えられないので、「仕方無かった」かもしれない。けれどそれ以上に自分の実力不足が原因で、それを認めたくなかったのでは、とも考えることが出来る。言い訳をする私と同じだ。私なら、試験官に「カーテン閉めてもらえませんか。」と一言等の対処法を考えて、自分の力をしっかりと発揮できるように努力する。

私は今中三で、今年まさに受験をする。従兄が体験したような出来事は私にも十分あり得ることで、そう思うと不安になる。でも試験を終えた後に、たとえ結果が悪くても、何かのせいにせずに、自分自身の実力がダメだったからと認められるように、やりとげたという実感を持つるように、今から準備をしたいと思う。しっかりと勉強し、時間いっぱいまで自分出来ることを全てやりきりたい。そして合格発表の時、「やった。合格した。」と喜ぶか、または、「実力不足だった。」と反省をするか。いずれにしても、仕方無いという言葉では、私は締めくくりたくない。

「仕方無いばかり使うことを卒業すると、人間は成長出来ると私は思う。中間テストで私は悪い点をとってしまい、ひどく後悔したことがある。それは見直しを怠ったせいであり、分かるはずの問題でミスをしたからだ。いつもなら仕方無いと言い訳をしていた私だが、その時は素直に欠点を顧みることが出来た。そして、期末テストでは反省を活かし、見事満点をとることが出来た。仕方無いを卒業し、少し変わることが出来た。」

①やむを得ない。「本当にそれ以外手段は無いのかな。」②どうにもならない。「少しでも改善できるはずだよ。」③改めようがない。「じゃあ次は失敗しないように、反省しようね。」今の私なら辞書にこう伝える。

「仕方無い」を多用することは、もうやめにしよう。